

## 都市創造戦略研究会について

和歌山大学経済学部

教授 大 泉 英 次

都市創造戦略研究会は、1999 年度より和歌山地域経済研究機構に設けられているものである。地域経済研究機構の研究活動は年度毎のプロジェクト研究を基本としているが、都市創造戦略研究会はこれとはやや性格を異にしている。そこでまず、この研究会が発足したいきさつを紹介しておきたい。

地域経済研究機構の平成 10 年度プロジェクト研究の 1 つとして『和歌山市の高次都市機能』（平成 11 年 11 月）が刊行された。この報告書は和歌山市の高次都市機能集積に向けた市民アンケート調査を主たる内容としている。その趣旨は、和歌山市を活力に富む魅力的な都市としていくための戦略づくりをめざして、まずその基礎データをえようというものであった。都市創造戦略研究会はこの研究活動を継続して発展させる目的で設置された。

新しい都市創造の戦略づくりという課題を単年度のプロジェクト研究によって達成することは難しい。そこで年度毎の研究とは別に中期的なプロジェクトを設け、課題の達成をめざすべきであるという判断のもと、都市創造戦略研究会が設置されたのである。

諸般の事情で立ち上げが遅れ、昨年 12 月に第 1 回研究会を開催した。和歌山社会経済研究所研究員（当時）の田端浩二氏をゲストとしてお招きし、ヨーロッパ諸都市（ロンドン、ローテンプルク、パリ）におけるまちづくりの視察の成果について御報告をいただいた。都市内交通体系の整備や居住環境整備、さらには商業・観光業の活性化等について、ヨーロッパの先進事例の興味深い御紹介があり、研究会メンバーとしては大いに啓発されたしだいである。

研究会の当面の活動としては、適宜ゲストをお招きして報告をいただくというスタイルをとっている。和歌山における都市づくりを幅広い視野にたって考えていくという

---

趣旨で研究を積み重ねていきたい。また、御報告の内容によっては、研究会メンバーだけでなく、ご関心の向きに広く参加を呼びかけることも考えている。

地域経済研究機構は和歌山商工会議所・和歌山社会経済研究所・和歌山大学経済学部之三機関で組織されており、各研究プロジェクトはこれら三機関に所属するメンバーから構成されるが、必要に応じ広く各界の方々も御参加、御協力をも得ていきたいものである。都市創造戦略研究会としては、さしあたり上記のような運営スタイルをとることで、多方面にわたる方々の御参加、御協力を得たいと考えている。